沖縄県立名護高等学校・附属桜中学校

# 夢 実 現

【学校通信】２号
令和6年6月14日
発行者
校長　遠越　学

## 総合開会式

（県総合運動公園レクドーム）

ー 女子ソフトテニス部の宮城はち（3年）さんのコメント ー
「団体戦では、準優勝に終わり目標だった連覇を逃してしまいましたました。その悔しさをバネに、全員個人戦は全国大会に行こうと意気込み、見事3ペアすべてが全国大会出場権を獲得することができました。負けた悔しさがなければ、ここまで頑張れなかったかもしれない。本当に良かった」

ー 男子サッカー部の松田淳人（3年）さんのコメント ー
「勝てる試合だったが結果的に様々な課題が残る悔しい敗戦となってしまった。これからも練習を重ね、ゴール前にボールを運ぶ技術、守備力、すべてにおいて精度をあげて、選手権大会においては絶対に優勝して2年連続全国大会出場を果たす」

## 県高校総合体育大会

５月３１日（金）令和６年度沖縄県高校総合体育大会総合開会式が行われ、すでに行われた先行競技を除く全競技がスタートしました。本校からは３０６名（県内３番目の登録者数）が１４競技に出場しました。今年の全国大会「ありがとうを強さに変えて（北部九州総体２０２４）『駆け上がれ夢の舞台へ燃え上がれ若人の魂』」をめざし、熱戦が繰り広げられました。本校のテーマは「ありがとう」勝敗に限らず、試合を終えたあとに全員が「ありがとう」という気持ちになれるよう力を合わせ挑みました。結果はそれぞれですが、特にラグビーフットボール部が３年連続２２回目の優勝、女子ソフトテニスダブルス（福地美楽惟・濱川詩友ペア）優勝、男子棒高跳び（金城秀翔）優勝の他、多くの競技で上位入賞を果たしました。各部活がこれまで積み上げてきた練習の成果を発揮し、チーム一丸となって挑む姿勢は圧巻でした。特に３年生は今大会が最後の大会となる生徒も多く、喜びと悔しさの涙が止まらない感動の大会でした。選手の皆さん、そしてマネージャー、応援をしてくれた皆さん本当に「ありがとう」

## 国頭地区中学校体育大会

６月１日（土）から令和６年度国頭地区中学校夏季総合体育大会が行われ、本校からは、空手道、剣道、野球（大宮中との合同）に出場しました。その中でも、剣道で、１年生の千葉咲成さんと、空手道で、同じく１年生の大隅丈さんが県大会出場を決めました。また、男子ハンドボールと、水泳はすでに県大会出場が決まっており、沖縄県中学校総合体育大会での活躍が期待されます。

桜中学校は、各学年１クラスと小規模ですが、勉強と部活動のメリハリをつけながら、積極的に活動し、団体競技ではハンドボールが、県大会での目標達成に向けて毎日元気に練習を重ねています。個人競技においても、それぞれが切磋琢磨し、日頃の勉強との両立を図りながら、日々努力しています。日頃やってきたことを発揮できるかが大切です。桜中「がんばろう！」

県大会出場を決めた千葉さんは小学校１年生から剣道を始め、これまでの成果が発揮できるよう「県大会では、相手の動きをきちんとみて逃げずに得意の”メン”をバシッと一本決める」と意気込んでいました。

同じく県大会出場を決めた大隅さんも小学校１年生から空手を始め、週５回の稽古に励んでいる。県大会では「逃げないで前に出ることを意識し、ベスト８を目指す」と力強く抱負を述べてくれました。ハンド部、水泳部と共に活躍に期待です。

## 野球部、吹奏楽部推戦式

６月２２日に開幕する全国高等学校野球選手権沖縄大会に出場する野球部と、７月２３日に行われる全沖縄吹奏楽コンクールに出場する吹奏楽部の推戦式が行われ、それぞれの成果を発揮し練習されることを宣言してまいました。野球部は春季大会ベスト８の実力を発揮し、３年生最後となるこの大会で、お互いが「ありがとう」といえる結果を残しくれることだと思います。吹奏楽部は昨年度惜しくも銀賞で悔しい思いをしました。今年こそは金賞をという強い意気込みで臨みます。頑張ってほしいです。